



なかしん

中小企業景況レポート

No.17 中栄信用金庫 地域支援部

平成27年10月～12月実績と平成28年1月～3月見込み

◆調査概要

調査時期 平成27年12月上旬
調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町
調査企業数 344社
回答企業数 339社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	96	95	98.9
卸売業	23	23	100.0
小売・飲食業	66	65	98.4
サービス業	55	54	98.1
建設業	64	63	98.4
不動産業	40	39	97.5
合 計	344	339	98.5

◆10月～12月期の概況

～3期ぶりの業況回復も、足踏み感は残る～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断 D.I. は▲7.1 を示し、前回調査（平成27年7月～9月期）に比べ4.7ポイントの改善となりました。これは、サービス、小売業等が例年通り年末需要を取り込んだことが要因であり、その他大手自動車メーカーの新型車投入に伴う自動車関連受注の持ち直しが見受けられ、中小企業の景況感は小幅改善に至ったものと思われます。

一方で、暖冬による季節商品伸び悩みの影響や、中国経済の減速懸念が表面化したことで、警戒感が強まり、さらに慢性的な人手不足や最低賃金上昇に伴う人件費の増大、経費上昇分の価格転嫁遅れが業績回復の足かせとなり、前年同時期（平成26年10月～12月期）と比べ業況回復に弱さが残る調査結果となっております。

設備投資の動きとしては、一部企業に受注増加に対応するための新規設備の導入や老朽化した設備の入れ替え等を検討する企業が見受けられるが、全体の約2割弱に留まり、設備投資は弱い動きとなっております。

項目別にみると、売上実績 D.I. は前回調査比15.2ポイント改善の12.1、収益実績 D.I. は前回調査比9.0ポイント改善の1.5となっております。また、仕入価格 D.I. は上昇感が弱まり9.3ポイント低下の13.6、資金繰りは1.9ポイント改善の▲14.4、人手不足については不足感が強まり6.7ポイント上昇の▲23.6となっております。

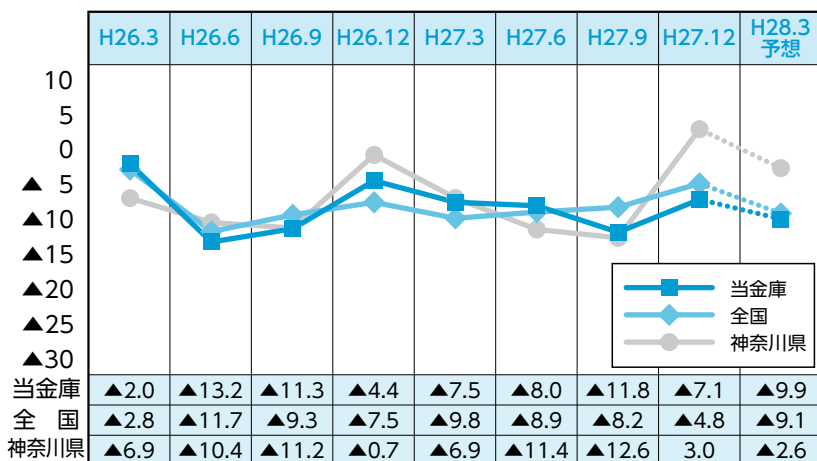
また、業種別の景況感は、サービス業が20.0ポイント改善の▲5.5、小売・飲食業が13.9ポイント改善の▲13.8、建設業が7.9ポイント改善の12.7、製造業が2.1ポイント悪化の▲6.4、不動産業が3.9ポイント悪化の▲27.0、卸売業が26.5ポイント悪化の▲17.4となっております。（業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業業況判断 D.I. は、前回調査比から3.4ポイント改善の▲4.8、神奈川県内は、15.6ポイント改善の3.0となっております。（全国と神奈川県の D.I. 値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

◆1月～3月期の見通し

来期の業況判断予想は2.8ポイント悪化の▲9.9、売上額 D.I. は12.7ポイント悪化の▲0.6、収益 D.I. は5.0ポイント悪化の▲3.5の予想となり、業種別では、卸売業、建設業、不動産業以外の3業種で悪化の見込みとなっております。

業況判断 D.I. 値（全業種）



全国、神奈川県の業況判断 D.I. 値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約16,000（うち神奈川県約480）の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I. 値とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

業種別景気天気図

	前 期	今 期	予 想
総 合			
製 造 業			
卸 売 業			
小売・飲食業			
サービス業			
建 設 業			
不 動 産 業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調
良い 悪い

製造業

概況

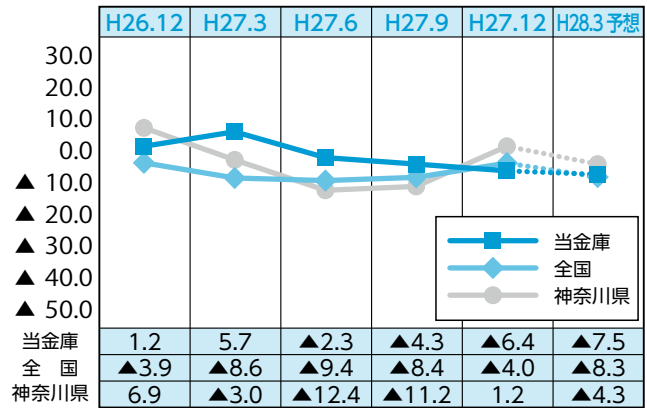
製造業の業況判断 D.I. は前回調査比 2.1 ポイント悪化の▲6.4 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 3.9 ポイント改善の 13.7、収益 D.I. は 3.2 ポイント改善の 3.2 となっております。これは、一部企業に新型車投入に伴う自動車関連受注の持ち直しが見られ、売上額 D.I.、収益 D.I. の改善に寄与したものの、中国経済の減速による受注減少、さらに慢性的な人手不足や最低賃金上昇に伴う人件費の増大、経費上昇分の価格転嫁遅れが影響し、景況感は小幅悪化に至ったものと思われます。経営上の問題点として、約 5 割強の企業が売上の停滞・減少、約 3 割弱の企業が利幅の減少を挙げており、一部企業では、不採算部門の整理や作業工程の見直しなど、生産体制の再構築を試みる企業も見受けられます。

なお、全国は 4.4 ポイント改善の▲4.0 となっております、神奈川県は 12.4 ポイント改善の 1.2 となっております。

来期の予想業況判断については、1.1 ポイント悪化の▲7.5 となっております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	32.6	44.6	22.8	D.I. 9.8
当期実績	36.8	40.1	23.1	13.7
来期予想	25.2	55.9	18.9	6.3
前年同期比	30.5	35.9	33.6	▲3.1

販売価格

前期実績	6.5	89.2	4.3	D.I. 2.2
当期実績	10.5	83.2	6.3	4.2
来期予想	8.4	84.3	7.3	1.1

在庫

前期実績	7.6	91.4	1.0	D.I. 6.6
当期実績	7.3	90.6	2.1	5.2
来期予想	7.3	90.6	2.1	5.2

人手

前期実績	16.4	61.7	21.9	D.I. ▲5.5
当期実績	9.5	66.1	24.4	▲14.9
来期予想	8.6	69.9	21.5	▲12.9

収益

前期実績	22.8	54.4	22.8	D.I. 0.0
当期実績	25.5	52.2	22.3	3.2
来期予想	18.9	62.2	18.9	0.0
前年同期比	24.2	44.3	31.5	▲7.3

原材料価格

前期実績	25.0	72.9	2.1	D.I. 22.9
当期実績	12.6	80.1	7.3	5.3
来期予想	8.4	88.5	3.1	5.3

資金繰り

前期実績	17.3	63.2	19.5	D.I. ▲2.2
当期実績	12.6	66.4	21.0	▲8.4
来期予想	7.3	68.5	24.2	▲16.9

設備状況

前期実績	5.4	72.9	21.7	D.I. ▲16.3
当期実績	5.2	77.0	17.8	▲12.6
来期予想	6.3	74.8	18.9	▲12.6

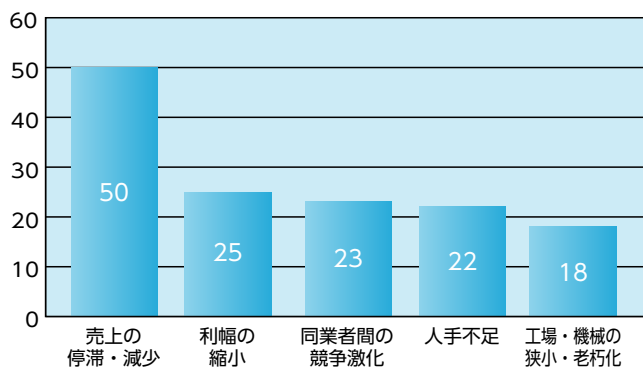
当期実績…27年10～12月期
来期予想…28年 1～3月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

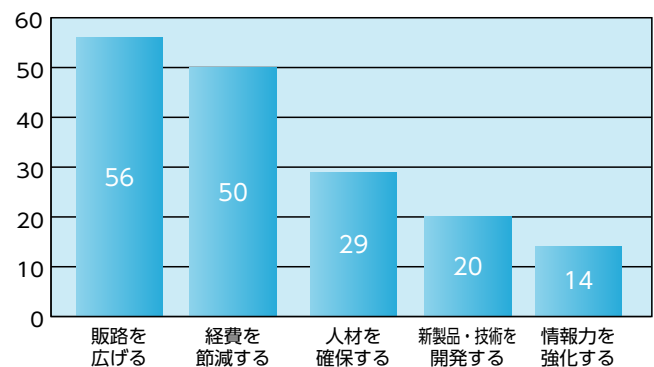
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



卸売業

概況

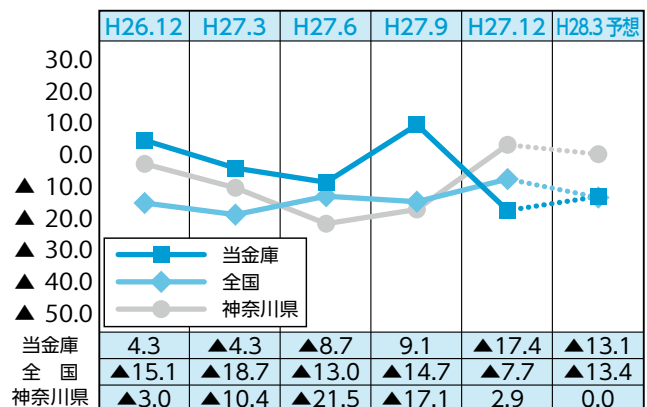
卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 26.5 ポイント悪化の▲17.4 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 4.2 ポイント改善の 8.7、収益 D.I. は横ばいの 0.0、資金繰り D.I. は 4.3 ポイント悪化の▲4.3、仕入価格 D.I. は上昇感が弱まり 1.0 ポイント低下の 21.8 となっております。これは依然として続く原材料高騰による企業収益の圧迫に加え、同業者間の競争激化により大幅悪化に至ったものと思われます。さらに一部企業では、人手不足が影響し、流通経路の見直しを検討するなど、深刻さを増しております。

なお、全国は 7.0 ポイント改善の▲7.7 となっており、神奈川県は 20.0 ポイント改善の 2.9 となっております。

来期の予想業況判断については、4.3 ポイント改善の▲13.1 となっております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	27.2	50.1	22.7	D.I. 4.5
当期実績	30.4	47.9	21.7	8.7
来期予想	21.7	47.9	30.4	▲8.7
前年同期比	30.4	39.2	30.4	0.0

販売価格

前期実績	22.7	63.7	13.6	D.I. 9.1
当期実績	13.0	69.7	17.3	▲4.3
来期予想	17.3	74.1	8.6	8.7

在庫

前期実績	13.6	86.4		D.I. 13.6
当期実績	8.6	87.1	4.3	4.3
来期予想	8.6	91.4		8.6

人手

前期実績	13.6	59.2	27.2	D.I. ▲13.6
当期実績		69.6	30.4	▲30.4
来期予想		74.0	26.0	▲26.0

収益

前期実績	22.7	54.6	22.7	D.I. 0.0
当期実績	21.7	56.6	21.7	0.0
来期予想	13.0	65.3	21.7	▲8.7
前年同期比	17.3	52.3	30.4	▲13.1

仕入価格

前期実績	31.8	59.2	9.0	D.I. 22.8
当期実績	30.4	61.0	8.6	21.8
来期予想	17.3	82.7		17.3

資金繰り

前期実績	18.1	63.8	18.1	D.I. 0.0
当期実績	13.0	69.7	17.3	▲4.3
来期予想	17.3	65.4	17.3	0.0

設備状況

前期実績	81.0	19.0		D.I. ▲19.0
当期実績	78.3	21.7		▲21.7
来期予想	81.9	18.1		▲18.1

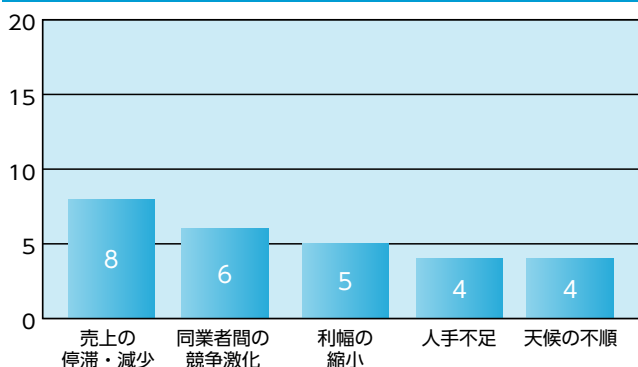
当期実績…27年10～12月期
来期予想…28年1～3月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

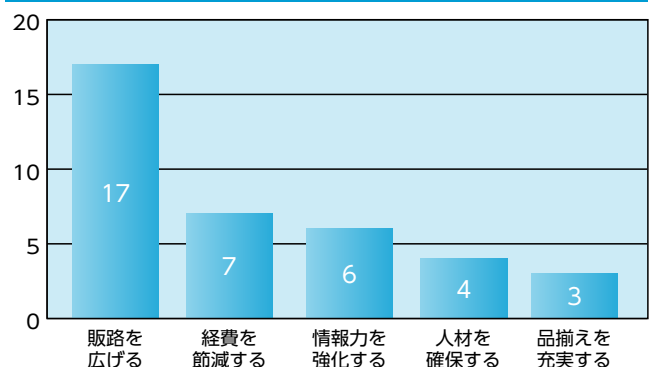
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



小売・飲食業

概況

小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査比 13.9 ポイント改善の▲13.8 となりました。

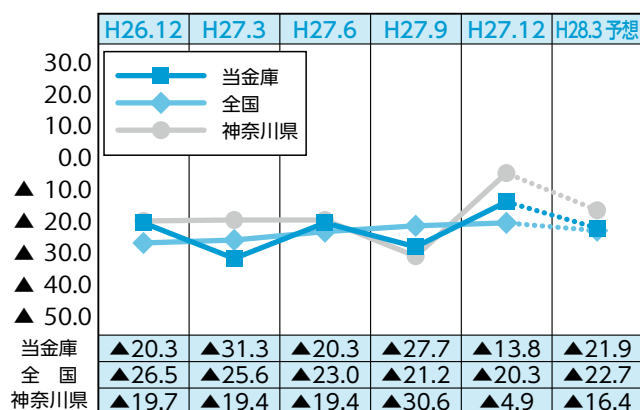
項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 26.0 ポイント改善の 10.7、収益 D.I. は 20.0 ポイント改善の▲7.7、資金繰り D.I. は 6.2 ポイント改善の▲32.3 となっております。

季節的需要の伸長やプレミアム付商品券等政府の生活支援対策による売上額 D.I.、収益 D.I. の改善が寄与し、大幅改善に至っております。しかし、約 6 割強の企業が経営上の問題点として、売上の停滞・減少、利幅の縮小を挙げており、依然として企業の厳しい経営実態が現れる結果となっております。さらに一部企業では、暖冬の影響により季節商品が不調である企業も見受けられます。

なお、全国は 0.9 ポイント改善の▲20.3、神奈川県は 25.7 ポイント改善の▲4.9 となっております。

来期の予想業況判断については、8.1 ポイント悪化の▲21.9 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	20.0	44.7	35.3	D.I. ▲15.3
当期実績	35.3	40.1	24.6	10.7
来期予想	21.5	43.2	35.3	▲13.8
前年同期比	26.1	38.6	35.3	▲9.2

販売価格

前期実績	12.3	80.1	7.6	D.I. 4.7
当期実績	15.3	77.1	7.6	7.7
来期予想	12.3	80.1	7.6	4.7

在庫

前期実績	21.5	70.9	7.6	D.I. 13.9
当期実績	18.4	78.6	3.0	15.4
来期予想	12.3	83.1	4.6	7.7

人手

前期実績	6.1	58.6	35.3	D.I. ▲29.2
当期実績	9.2	53.9	36.9	▲27.7
来期予想	7.6	58.6	33.8	▲26.2

収益

前期実績	10.7	50.9	38.4	D.I. ▲27.7
当期実績	27.6	37.1	35.3	▲7.7
来期予想	20.0	44.7	35.3	▲15.3
前年同期比	16.9	49.3	33.8	▲16.9

仕入価格

前期実績	40.0	55.4	4.6	D.I. 35.4
当期実績	32.3	61.6	6.1	26.2
来期予想	23.0	63.2	13.8	9.2

資金繰り

前期実績	7.6	46.3	46.1	D.I. ▲38.5
当期実績	6.1	55.5	38.4	▲32.3
来期予想	9.2	61.6	29.2	▲20.0

設備状況

前期実績	3.0	87.8	9.2	D.I. ▲6.2
当期実績		88.9	11.1	▲11.1
来期予想		88.9	11.1	▲11.1

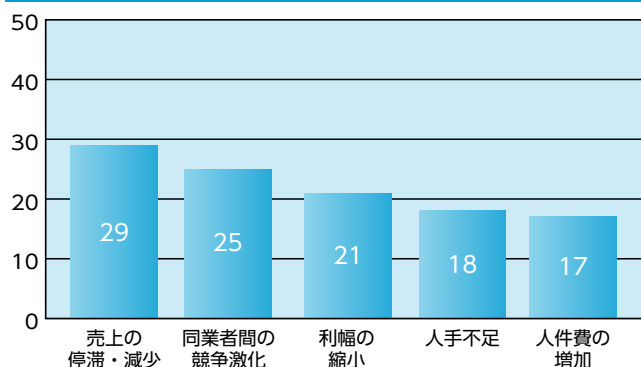
当期実績…27年 10～12 月期
来期予想…28年 1～3 月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

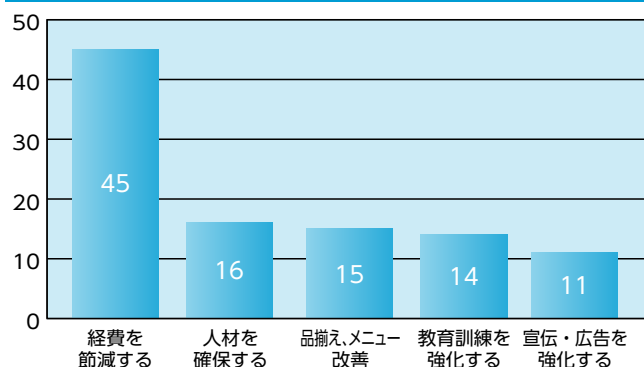
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

概況

サービス業の業況判断 D.I. は前回調査比 20.0 ポイント改善の▲5.5 となりました。

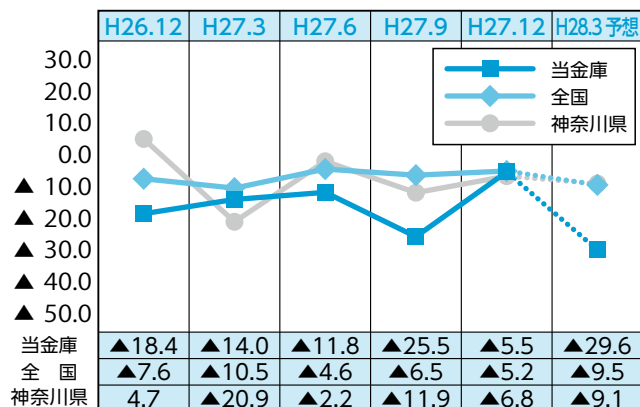
項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 26.7 ポイント改善の 13.0、収益 D.I. は 9.5 ポイント改善の 5.6 となっております。

今回の調査においては、秋の観光シーズンや年末商戦による集客効果もあり、業況判断 D.I.、売上額 D.I. 共に大幅改善しております。しかし、季節的要因が影響した一過性の売上増加要因が強く、来期の予想業況判断においては大幅下落が予想され、依然厳しい状況が続いております。

なお、全国は 1.3 ポイント改善の▲5.2 となっており、神奈川県は 5.1 ポイント改善の▲6.8 となっております。

来期の予想業況判断については、24.1 ポイント悪化の▲29.6 となっております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	21.5	43.3	35.2	D.I. ▲13.7
当期実績	37.0	39.0	24.0	13.0
来期予想	14.8	51.9	33.3	▲18.5
前年同期比	35.1	37.2	27.7	7.4

料金価格

前期実績	1.9	88.3	9.8	D.I. ▲7.9
当期実績		92.6	7.4	▲7.4
来期予想		94.5	5.5	▲5.5

資金繰り

前期実績	1.9	60.9	37.2	D.I. ▲35.3
当期実績	7.4	64.9	27.7	▲20.3
来期予想	7.4	57.5	35.1	▲27.7

設備状況

前期実績	2.0	78.0	20.0	D.I. ▲18.0
当期実績	3.7	70.4	25.9	▲22.2
来期予想	3.7	71.8	24.5	▲20.8

収益

前期実績	21.5	53.1	25.4	D.I. ▲3.9
当期実績	33.3	39.0	27.7	5.6
来期予想	16.6	50.1	33.3	▲16.7
前年同期比	31.4	39.0	29.6	1.8

材料価格

前期実績	19.6	70.6	9.8	D.I. 9.8
当期実績	20.3	72.3	7.4	12.9
来期予想	18.5	74.1	7.4	11.1

人手

前期実績	17.6	51.1	31.3	D.I. ▲13.7
当期実績	5.5	53.8	40.7	▲35.2
来期予想	5.5	55.7	38.8	▲33.3

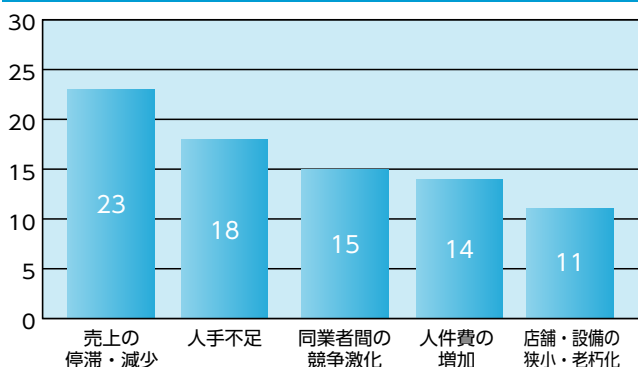
当期実績…27年10～12月期
来期予想…28年1～3月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

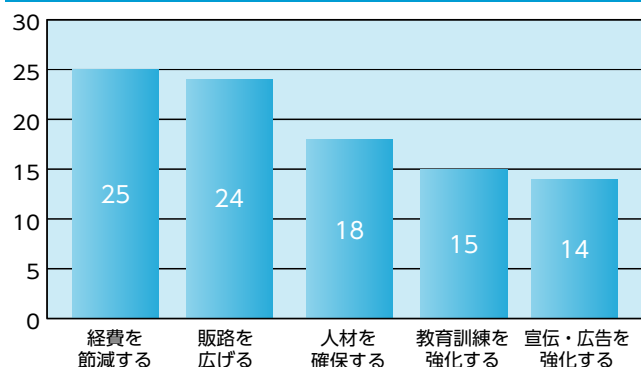
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



建設業

概況

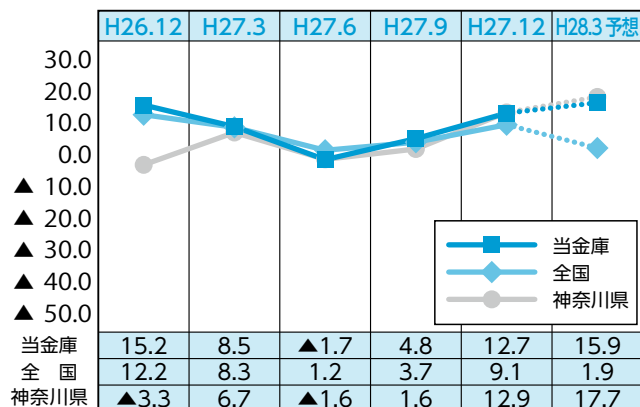
建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 7.9 ポイント改善の 12.7 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 22.1 ポイント改善の 28.6、収益 D.I. は 14.3 ポイント改善の 11.1 となっております。これは、年末や年度末に向けた住宅関連受注の増加や、リフォーム受注が堅調に推移したことが要因と思われます。しかし、前回調査に続き先行きについても全業種の中で人手不足の度合いが最も深刻であり、人手不足に伴う受注機会の損失が改善に向けての動きを鈍くしていると思われます。

なお、全国は 5.4 ポイント改善の 9.1 となっており、神奈川県は 11.3 ポイント改善の 12.9 となっております。

来期の予想業況判断については、3.2 ポイント改善の 15.9 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	29.0	48.5	22.5	D.I. 6.5
当期実績	41.2	46.2	12.6	28.6
来期予想	33.3	49.3	17.4	15.9
前年同期比	36.5	36.6	26.9	9.6

請負価格

前期実績	6.4	82.4	11.2	D.I. ▲4.8
当期実績	20.6	71.5	7.9	12.7
来期予想	14.2	76.3	9.5	4.7

在庫

前期実績	3.2	93.6	3.2	D.I. 0.0
当期実績	6.3	92.2	1.5	4.8
来期予想	3.1	96.9		3.1

人手

前期実績	4.8	61.4	33.8	D.I. ▲29.0
当期実績	3.1	66.8	30.1	▲27.0
来期予想	1.5	58.9	39.6	▲38.1

収益

前期実績	20.9	55.0	24.1	D.I. ▲3.2
当期実績	30.1	50.9	19.0	11.1
来期予想	28.5	50.9	20.6	7.9
前年同期比	28.5	43.0	28.5	0.0

材料価格

前期実績	35.4	64.6		D.I. 35.4
当期実績	28.5	70.0	1.5	27.0
来期予想	25.3	71.6	3.1	22.2

資金繰り

前期実績	11.2	64.7	24.1	D.I. ▲12.9
当期実績	11.1	68.3	20.6	▲9.5
来期予想	11.1	69.9	19.0	▲7.9

設備状況

前期実績	98.4	1.6		D.I. ▲1.6
当期実績	95.2	4.8		▲4.8
来期予想	96.8	3.2		▲3.2

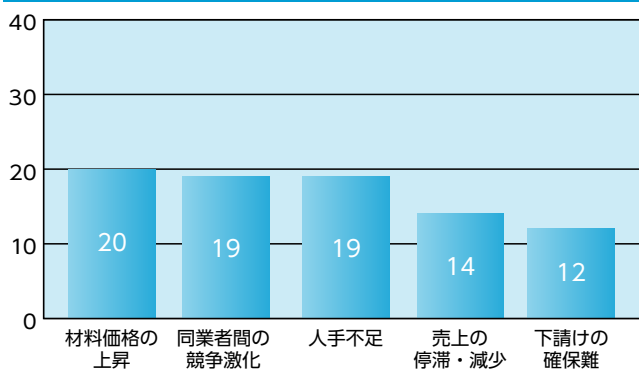
当期実績…27年 10～12 月期
来期予想…28年 1～3 月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

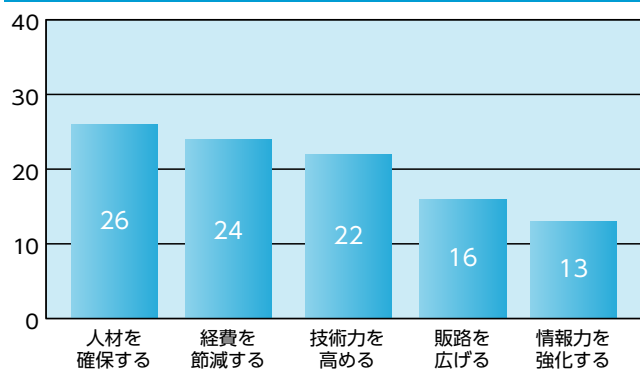
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

概況

不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 3.9 ポイント悪化の ▲27.0 となりました。

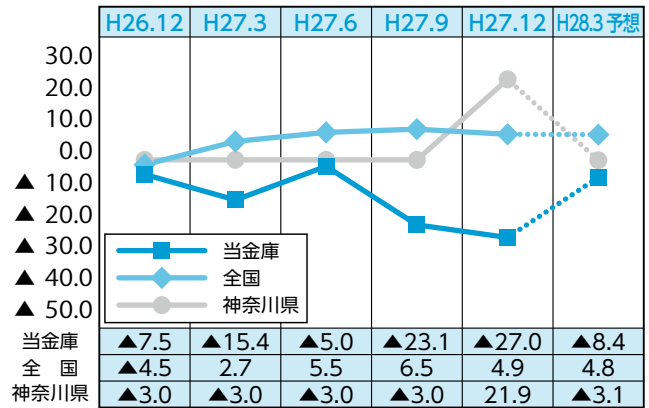
項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 2.6 ポイント改善の ▲15.4、収益 D.I. は横ばいの ▲7.7 となっております。

県西エリアでは、依然として不動産取引の動きが鈍く、売上に影響が出ている企業も多く見受けられます。一方で湘南エリアは、活発な動きを見せている状況であり、一部企業では、平成 29 年 4 月の消費税増税前の駆け込み需要を見越した商品仕入れを行うなど、商品不足が深刻な状況下では、今後商品の確保が懸念材料となることが予想されます。

なお、全国は 1.6 ポイント悪化の 4.9 となっており、神奈川県は 24.9 ポイント改善の 21.9 となっております。

来期の予想業況判断については、18.6 ポイント改善の ▲8.4 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	23.0	36.0	41.0	D.I. ▲18.0
当期実績	17.9	48.8	33.3	▲15.4
来期予想	23.0	61.7	15.3	7.7
前年同期比	17.9	38.6	43.5	▲25.6

販売価格

前期実績	2.5	59.1	38.4	D.I. ▲35.9
当期実績	2.5	64.2	33.3	▲30.8
来期予想	2.5	66.8	30.7	▲28.2

在庫

前期実績	10.2	74.5	15.3	D.I. ▲5.1
当期実績	10.2	59.1	30.7	▲20.5
来期予想	7.6	71.9	20.5	▲12.9

人手

前期実績	89.8	10.2	D.I. ▲10.2
当期実績	87.2	12.8	▲12.8
来期予想	84.7	15.3	▲15.3

収益

前期実績	23.0	46.3	30.7	D.I. ▲7.7
当期実績	20.5	51.3	28.2	▲7.7
来期予想	25.6	59.1	15.3	10.3
前年同期比	17.9	43.7	38.4	▲20.5

仕入価格

前期実績	12.8	74.4	12.8	D.I. 0.0
当期実績	7.6	71.9	20.5	▲12.9
来期予想	5.1	82.1	12.8	▲7.7

資金繰り

前期実績		D.I. ▲2.6
当期実績		▲5.1
来期予想		▲10.2

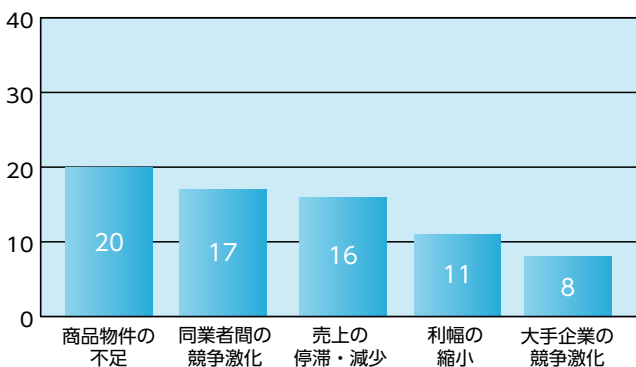
当期実績…27年 10～12 月期
来期予想…28年 1～3 月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

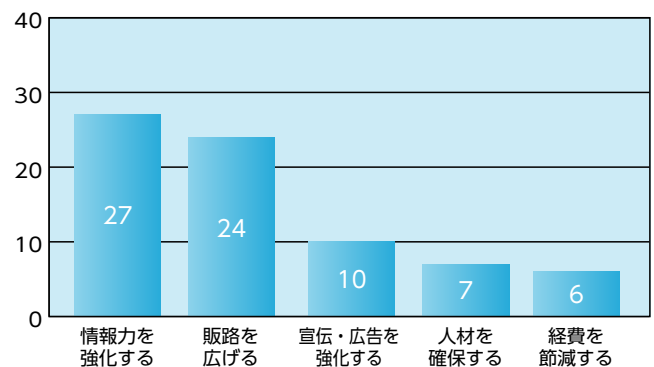
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



問1. 貴社では、2016年の日本の景気をどのように見通していますか。1つお答えください。

1位 普通	152社	5位 非常に悪い	7社
2位 やや悪い	107社	6位 良い	4社
3位 やや良い	35社	— 非常に良い	0社
4位 悪い	32社		

問2. 貴社では、2016年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。1つお答えください。

1位 普通	155社	5位 良い	10社
2位 やや悪い	88社	6位 非常に悪い	7社
3位 やや良い	51社	7位 非常に良い	1社
4位 悪い	25社		

問3. 2016年において貴社の売上額の伸び率は、2015年に比べおおよそどのくらいになると見通していますか。

1つお答えください。

1位 変わらない	122社	6位 20～29%の増加	11社
2位 10%未満の増加	83社	7位 20～29%の減少	8社
3位 10%未満の減少	53社	8位 30%以上の減少	4社
4位 10～19%の増加	35社	9位 30%以上の増加	3社
5位 10～19%の減少	17社		

問4. 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。1つお答えください。

1位 業況改善の見通しは立たない	91社	5位 2年後	33社
2位 1年後	64社	6位 3年後	27社
3位 すでに上向いている	53社	7位 3年超	19社
4位 6ヶ月以内	44社		

問5. 2016年1月にマイナンバー制度は運用開始となりますが、貴社における同制度への対応度合いについて、1つお答えください。また、マイナンバー制度対応への準備にあたって、誰と相談しながら進めてきましたか、または進めていくのか。

1つお答えください。

対応度合い

○十分に対応できている	13社
○対応できている	102社
○あまり対応できていない	139社
○まったく対応できていない	38社
○対応の必要性を感じない	46社

相談相手

○取引金融機関	19社
○国・自治体・行政機関等	28社
○弁護士・税理士・社労士等の専門家	248社
○システム業者	3社
○その他	21社

平成27年度補正予算による補助金について

平成27年度補正予算において「ものづくり・商業・サービス新展開補助金」「小規模事業者持続化補助金」等の補助金について閣議決定され、2月中に応募が開始される予定となっております。これを受けて補助金申請に係るポイントをいくつか挙げてみます。

補助金申請のポイント！

- ①開発・研究、事業等の目的が明確であること
- ②ターゲット顧客が明確である。市場性が充分にあること
- ③事業の持続性・発展性が高いこと（補助金による効果が明らかであること）
- ④上記について経営者自身がストーリーとして整理できていること等が挙げられます。

過去の実績からも単なる設備の購入や効果が不明確な事業等は補助金の採択が難しいようであります。補助金に関する相談はお近くの中栄信用金庫窓口までご相談ください。